9月 令和8年（2026年）石垣市新川児童館だより

〒907-0024
石垣市新川2212-9
TEL 0980-87-7747
FAX 0980-87-7748

【開館時間 10:00～12:00 / 13:00～18:00 】※17:45～お片付け・そうじです。

- ○ 新川児童館は、0～18歳未満のすべての子どもが利用することができます。
- ○ お子さんを預かる施設ではないため、利用時の来館・退館時間（帰る時間等）はご家庭で約束をした上でご利用ください。 ※未就学児は保護者の同伴が必要です。
- ○ 来館の際は必ず水筒を持参してください。ペットボトルや缶はダメです。
- ○ 駐車場が満車の際は、他に停める場所はありません。徒歩か公共交通機関をご利用ください。

8月のおもいで


こま回


外来種展示パネル


体育着の寄贈


刀作り


年金についての学習


「流しそうめん」


掃除・買い出し・DIY・片付け全部自分達でやりました！




皆で作り上げた「ウォータースライダー」




段ボール迷路


ゴミ拾い



段ボール in シアター




ラジオ体操

乳幼児親子向け 午前の活動

月 感覚あそび 午前 10:00～12:00	火 にこにこタイム 午前 10:30～11:00	水 のびのびデー 午前 10:00～12:00
木 ママスポ 午前 10:00～12:00	金 ヨガ教室 午前 10:30～11:00	土 運動遊び 午前 10:00～12:00

毎月

★ママカフェ＆ボディケア
児童館で確認してね♪

★リフレッシュエクササイズ
15日(火)10:30～

★保育コンシェルジュ
2日(水) 8日(火) 14日(月) 11:00～



午前中は乳幼児さん向けの活動をしています。特に、「ママカフェ」、「ママスポ」、「ヨガ教室」、「ボディケア」、「リフレッシュエクササイズ」、はママの為の活動です。
お子さんが一緒じゃなくても大歓迎ですよ！
是非リフレッシュしに来てくださいね😊

インスタの「ハイライト」でチェック！

ishigakishi_arakawajidoukan

大切なおしらせ

★新川児童館駐車場が満車の場合は、他に停める場所はありません。
※絶対に空き地や団地内、路上駐車はお止めください。



★緊急時以外は電話をお控えください。「児童館に来てますか？」の電話が多く困っています。
※午後は電話が取れないこともあります。御用のある方は午後 15:00までに連絡お願いします。
緊急時→「行方不明」「こどもが 18 時過ぎても帰ってこない」等 （生死に関わること）
緊急時以外→「習い事に行かせてください」「帰って来てと伝えて」等（生死に関わらないこと）



★児童館はこどもを預かる施設ではないため、利用時の来館・退館時間（帰る時間等）はご家庭で約束をした上でご利用ください。また、こどもの意思を無視し、児童館に置いていく行為もお止めください。
つれて行く時は必ず、「児童館に行きたいのか？」こども達の意思確認と約束事をして来館してください。



★長期休みの平日（月～金）は、「午前中から小学生以上が優先」となります。乳幼児さんは、「乳幼児のお部屋」のみになりますので、ご了承ください。

★新しい年度になりました。利用登録（年度更新）が必要です。利用登録は、ケガや事故・事件などが起きたときに、迅速に保護者と連絡を取る為に必要になります。必ず利用登録をお願いします。

★「なんで体育館使えないんですか？」とよく質問があります。午後の体育館はこども達が相談し合い、自分たちで遊ぶ内容を決めている為、総合体育館のように予約して利用できるわけではありません。予めご了承ください。

館長のひとこと

「こどもの汗は〝あそび〟の結晶」

長いようで短い、最高の夏休みが終わりましたね。児童館では、様々なイベントや活動、そして毎日の遊びをこども達が主体的に楽しんでいました。石垣市新川児童館の Instagram にも、そんなこども達の遊びの様子をたくさん載せています。写真を見ながら「遊びの重要性」や「娯楽に対しての意識」が変わり「理解が深まる人が増えたらいいな」と思っています。

さて、そんな汗びっしょりになりながら遊ぶ、素敵なこども達。そんなこども達に対して大人が、「お前の汗よっ!!」「タオルで拭けって、いつも言ってるでしょ!!」「きったない!!触んな!!」そんな言葉を投げかける場面をよく見かけます。大人にとっては、特別深い意味もなく、軽いコミュニケーションのつもりなのかもしれません。でも、その言葉を受け取ったこどもの心は寂しくうつ向き、悲しい気持ちになってしまいます。



生活が豊かな時代になったことで「キレイ」が当たり前、快適な温度で過ごすことが当たり前、自宅に娯楽があふれている状態が当たり前。そんな便利で快適な環境に世の中が変化し始めたことで、私達大人はいつの間にか自分たちがこどもの頃に経験してきたことを忘れてしまっています。そして、今の自分たちの価値観を、そのままこども達に当てはめてしまう。「汗かいてる！汚い！」「服を汚すな」「暑いから家から出るな」そんな大人の尺度で、こども達の姿を見てしまってはいないでしょうか。こども達にあそびは必要ですが、別にこども達は「成長するために遊ぼう」と思って遊んでいるわけではありません。「今、これが一番やりたい！」「ちょっと我慢して、友達のために参加してみよう」「嫌な友達もいるけれど、自分なりに気持ちを切り替えて楽しみたい」「ちょっと怖いけど、勇気を出して初めての遊びに参加してみよう」そんな一つひとつの気持ちを抱き葛藤しながら挑戦し、遊びの中で無意識の中、発達していきます。これがこども時代の「遊び」の力なんです。その過程で得た結果が、汗びっしょりになった姿であり、汗＝遊びの結晶なんです。だからこそ、大人はその姿を否定するのではなく、喜びとして受け止め称賛してあげてほしい。なぜならそれはこども達がその日を全力で生きた証だからです。

こども達が本気で挑戦する姿を心から喜ぶ。そして、必要なときにはそっと手を差し伸べる。それが、私たち大人の役割ではないでしょうか。こども時代の価値ある一つ一つの瞬間は、ゲームやスマホ、買い物やイベントではなく、日々の遊びです。生活環境が豊かでも、心が貧しければ幸せを感じることはできません。心を豊かにするには、日常のあそびの中で人と関わることが必要不可欠です。「やってみたい」を大切に、発達を支えていける大人で在りたいですね。